

KINJO MIND KIND

Kinjo University 2011.3 No.12



在学生ピックアップ

後援会 活動報告

- 平成22年度 後援会地方説明会 & 個別相談会
- 予算及び経費執行経過報告

大学行事

- 卒業研究発表会
- マナーアップ・キャンペーン
- 『金城Hot Spot』点灯式
- 学生との意見交換会
- 平成22年度 卒業式

研究・教育活動報告

- 特別研究活動成果報告会 開催報告
- 研究成果最適展開支援事業 (A-STEP) 採択状況
- 科学研究費補助金 採択状況 など

クラブ・同好会 活動報告

トピックス

- 開学10周年事業 (記念講演・記念祝賀会) 開催
- 北國健康生きがい支援事業
- 第5回福祉創造フォーラム開催

平成22年度 卒業パーティー

平成23年度 行事案内

- 金城大学の建学理念 など

在学生ピックアップ

ゆうがく広場



参加者との触れ合いは いつも新鮮で学びの連続

社会福祉学科 介護福祉コース
4年 古川 陽子

ゆうがく広場に参加するようになり、初めは、どのように進めていけば良いかわからず、手探り状態で企画していったのを覚えています。実習で接してきた施設の利用者の方々と違い、地域で元気いっぱい活躍している参加者の方々と触れ合いは、いつも新鮮で、

また多くのことを学ぶ機会が連続だったように感じています。個性をもったメンバーがアイデアを出し合い、回を重ねるごとに内容も充実していき「ゆうがく広場」を盛り上げていくことができました。ある参加者の方から「あなたの顔見ると元気がなるわあー」と笑顔で言っていた時は、本当に嬉しくもっともっ



高齢者に楽しんでもらえる アクティビティ活動を企画・実施

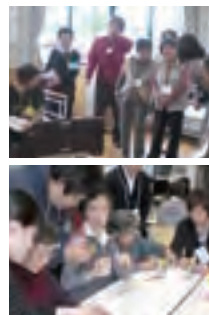
社会福祉学科 介護福祉コース
4年 大橋 良佑

ゆうがく広場では、参加した学生を中心として一年を通してのテーマを決め、そのテーマに沿ったアクティビティ活動を企画し、高齢者の方々と交流を図っています。私は、高齢者の方とコミュニケーションを図ることが苦手なと感じていたので、よい機会だと思

い、ゆうがく広場に参加しました。その中でも、みんなで参加者の方々に楽しんでもらえるように話し合いを行い、企画していくことはとても良い経験となりました。このような経験は大学生活の中でもなかなかできるものではありません。また、参加者の方々と交流は、コミュニケーションを図る



と喜んでもらえる企画を立てていきたいという意欲が高まりました。この活動では、学生や参加者の方々と交流を通して、コミュニケーション能力を高めることができただけでなく、参加者のニーズに合ったより良い企画を立てていくことの重要性を学ぶことができました。社会人になっても、これらの経験を活かし、また人間的にも成長を続けながら、相手の立場に立った考え、行動が取れるように実践していきたいと思っています。



ことを苦手に感じていた私にとって、少しずつ克服するとても良いきっかけになりました。その後の学外実習などでも自ら積極的にコミュニケーションを図ることができるようになりました。

参加者の方々が楽しんで活動することが「心の活性化」に繋がるといふことを活動を通して感じるようになりました。この経験を生かし、福祉現場で働いていきたいと思っています。ゆうがく広場は、私にとって大学生活を充実させてくれたものの一つとなりました。

悠遊健康サークル

コミュニケーションや 仕事の責任感を学ぶ

理学療法学科
2年 村中 康洋



私がこのサークルに参加するようになったきっかけは、大学に入学した当初、何か今までのとは違ったものに取り組んでみようと思ったからでした。そんな中、サークルを探していたところ、この悠遊健康サークルを見つけました。医療従事者を志すにあたり、日常の挨拶や状況に応じた言葉遣い、そして医療人としての身だしなみや誠実な対応なども学ぶ必要があることから、特に自分とは人と話すのがあまり得意ではなかったこともあり、コミュニケーション能力の向上も目的にこのサークルに参加しようと思いました。

このサークルには1年次から参加していて、活動中の雰囲気は非常に明るいと感じています。最初の頃はなかなか上手くコミュニケーションをとることができませんでしたが、今では大分良くなってきたように感じています。また、マシントレーニングを用いた運動担当班のリーダーを務めたこともあり、リーダーとしての仕事の責任感も学ぶことができました。このサークルに入り多くのことを学ぶことができていると感じています。また、参加者の方からの「参加して良かった」などの言葉はとても嬉しく、また励みにもなり、次回もより良いものにしていくという原動力にもなっています。



「楽しかったわ、ありがとう」 の言葉が忘れられない

理学療法学科
3年 中井 美香



私は、将来、理学療法士になった際に、地域リハビリテーションなどと地域に携わって働きたく、そのための知識や経験を培っていきたくて、悠遊健康サークルに入りました。このサークルに入ってから一番印象に残っている出来事は、私が2年生の時に参加者の前へ出て体操をするようになった時のことです。私は人前へ出て何かをすることが苦手だったので、今まではそういったことを避けてきました。そのため、体操をすることになった時は不安でいっぱいでした。どうしたら参加者の方々が楽しんで体操に取り組めるかということを考えて、グループのみんなと考え、「トトロ」の歌に合わせて体操を

しようということになりました。いざ、参加者の方々の前で体操を披露する日になると、みんなドキドキしながら体操をした記憶があります。その後、サークルで体操を続け、最後の修了式の時に、参加者の方々が「トトロ」楽しかったわ、ありがとう」と言われたことが今でも忘れられません。私はこの経験から以前より積極性が伸びたのではないかと感じています。これからもこのサークルを通してたくさんの方々と学びたいと思っています。



後援会 活動報告

平成22年度 後援会 地方説明会&個別相談会

今年度も平成22年12月11日(土)に能登会場・福井会場・富山会場の全3会場にて、地方説明会・個別相談会を実施しました。

能登会場はホテルウエルネス能登路にて15名、福井会場は福井パレスホテルにて16名、富山会場は富山第一ホ

テルにて25名、合計56名の保護者の方にご参加いただきました。

各会場ともご参加いただいた保護者の方にはたいへん好評で、本会としても引き続き、より多くの保護者の方にご参加いただけるよう取り組んでいく予定です。

予算及び経費執行経過報告

(購入備品、寄付状況等について)

平成22年度予算 収入の部 (単位:円)	
会費	16,035,000
利子	0
雑収入	0
前年度繰越金	7,048,658
合計	23,083,658

平成22年度予算 支出の部 (単位:円)	
学生活動支援費	6,000,000
就職・教育活動援助費	3,500,000
会員研修費	300,000
研究活動支援費	800,000
会議費	700,000
通信費	500,000
慶弔費	500,000
開学10周年記念事業負担金	6,000,000
事務費負担金	375,000
広報費	1,000,000
雑費	100,000
卒業記念品代	1,300,000
予備費	2,008,658
次年度繰越金	-
合計	23,083,658

後援会予算による 物品等の購入及び 使用について

学生活動支援費

昨夏の猛暑を受け、クラブ・同好会関係の多くの学生からの強い要望に基づき、平成22年10月18日(月)に製氷機を設置しました「日光アリーナ(体育館)」。また、学生が自由に閲覧可能な専門雑誌を購入し、社会福祉学部棟内に整備していますが、2学部体制、建物も2棟となったことから、今後、より多くの学生が利用できるように、平成23年2月18日(金)に医療健康学部棟にも雑誌用書棚を設置しました(医療健康学部棟2階学生ラウンジ)。



就職・教育活動支援費

年間を通じて、就職支援関係(専門職・一般企業及び接遇関係を含む)、国家試験支援関係、各種資格取得支援関係の対策講座を実施しており、例年、その経費の一部を補助しています。また、今年度は、複数回実施している社会福祉士国家試験及び理学療法士国家試験の模擬試験の受験料(学生負担分)の一部を補助しました。

研究活動支援費

4年生今年度から2学部部分から提出された卒業論文・事例研究の要旨集について、平成23年1月に発行し、全学生に配付しました。

開学10周年記念事業負担金

開学10周年記念事業(図書館新システム導入)について、金城大学同窓会とともに経費の一部を負担しました。なお、平成22年10月31日(日)に開催された「金城大学開学10周年記念講演・祝賀会」にて記念品贈呈が行われました。

事務費負担金

近年の事務内容の多様化、事務量の増加等に伴い、金城大学後援会及び同窓会、金城大学短期大学部後援会及び同窓会の全4団体にて、平成22年7月から1名の専門事務職員を雇用しています。

卒業記念品代

今年度は、卒業予定者に希望調査を実施し、卒業記念品「ボールペンセット(ボールペン)」を購入しました。平成23年3月18日(金)卒業式当日、全卒業生(281名)に贈呈しました。

※その他各費目の詳細につきましては、平成23年度後援会総会(平成23年6月11日(土)開催)予定資料にてご報告させていただきます。

大学行事

医療健康学部 11/6
社会福祉学部 12月~1月

卒業研究発表会

社会福祉学部は、平成22年11月8日(月)から12日(金)の期間で卒業論文の提出を受け付け、12月から1月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行いました。また、医療健康学部は、平成22年11月1日(月)から5日(金)の期間で卒業論文の提出を受け付け、11月6日(土)に学部全体の卒業研究発表会を行いました。



11/9・30

マナーアップ・キャンペーン

今年度も短大部と合同で、学友会が中心となりマナーアップ・喫煙マナー向上キャンペーンを実施(11月中に2回実施)しました。校内や駐車場、喫煙所でのマナー向上の呼びかけ、吸殻・ゴミ拾いなども実施し、敷地内の美化運動を行いました。



12/10

『金城Hot Spot』 点灯式

例年実施している電飾イルミネーションについて、昨年までのケヤキ並木に施す電飾から規模を拡大し、今年度は大学・短大部の学生も利用するエントランスサークルにイルミネーションが設置されました。それに伴い、平成22年12月10日(金)に点灯式を開催しました。当日は、エントランスサークル及び第2食堂にて点灯式を実施し、参加した金城大学附属西南幼稚園の園児及び保護者の皆様、大学・短大部学生、教職員にも少し早いクリスマスプレゼントが配られました。



12/13~20

学生との意見交換会

例年実施している学生との意見交換会について、学友会(大学の学生主体行事等を運営する団体)が全学生に対して実施した大学生生活全般に関するアンケート結果をふまえ、代表学生と教職員との意見交換会が、平成22年12月13日から20日までの期間で5日間実施されました。食堂や各施設面に関する事項、授業運営に関する事項などについて、各日約2時間程度の意見交換を実施しました。



3/18

平成22年度卒業式

平成23年3月18日(金)に、第8回卒業証書・学位授与式が白山市松任文化会館で行われました。社会福祉学部223名、医療健康学部58名、合計281名の卒業生が学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

式では、加藤理事長が告辞を述べ、本田学長が「癒しの提供者として、医療・福祉の現場で大いに活躍してほしい」と式辞を述べました。続いて、作野白山市長などからの祝辞を賜り、また、多くの祝電を賜りました。最後に、卒業生を代表して菊池礼乃さんが答辞を述べました。

同日、会場をANAクラウンプラザホテルに移し、卒業パーティーが行われました。次年度の卒業式は、平成24年3月18日(日)に白山市松任文化会館にて行われる予定です。



研究・教育活動報告

特別研究活動成果報告会 開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、平成22年度は6月28日(月)、30日(水)、7月1日(木)の3日間で、全13件の活動報告(平成21年度交付者による報告を行いました。平成22年度の発表者は左記の通りです。

- 1 **下村 有子 教授**
「五感による温泉イメージアンケート報告」
- 2 **永井 将太 講師**
「ミラーセラピー(Mirror Therapy)の効果検証に関する研究」
- 3 **小島 聖 講師**
「若年健常者における足部形態が足趾筋力と立位バランスに及ぼす影響」
- 4 **野口 雅弘 講師**
「日本の青年男子における低強度運動前後の血管内皮機能の変化」
- 5 **山本 拓哉 助手**
「トレッドミル歩行時における骨盤後下方牽引が下肢筋活動に及ぼす影響」
- 6 **田中 克憲 講師**
「特別養護老人ホームにおける終末期ケアの実施に繋がる施設の構造と北陸三県の調査結果から」
- 7 **寺尾 研二 講師**
「下肢に対する温熱刺激の範囲が姿勢制御機能に与える影響についての研究」

- 8 **佐々木 賢太郎 講師**
「階段動作における支持脚の運動解析」
「ジャイロセンサーを用いた回旋運動の検討」

- 9 **川邊 弘之 教授**
「ノートテイクにおける『質より量のアプローチ』の数学的検証と仮想ノートの検討」

- 10 **大塚 郁朗 教授**
「『気になる』子を担当する保育士の意識に関する調査Ⅱ」

- 11 **内 慶瑞 准教授**
「滑川市地域福祉活動計画の展開過程における考察」

- 12 **木林 勉 准教授**
「高齢者における運動機能評価の検証」
- 13 **神谷 晃史 講師**
「股関節体操時の筋活動の特徴と即時的效果」

研究成果最適展開 支援事業(A・STEP) 採択状況

独立行政法人科学技術振興機構による研究成果最適展開支援事業(A・STEP)「フリージビリティスタディ(探索タイプ)」について、平成22年度の採択・交付者は左記の通りです。

- 1 **神谷 晃史 講師**
「身体活動援助型車いすの研究開発」
「最適なシートの傾斜と形状の検討」

科学研究費補助金採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費補助金は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成制度です。平成22年度の採択・交付者は左記の通りです。

- 1 **木谷 尚美 准教授**
「健康高齢者を対象とした認知症準備教育『認知症マイプランの作成』の実施と評価」
- 2 **曾我 浩之 教授**
「刺激量・時間・タイミング 機械刺激が筋萎縮を抑える効果は何によって高まるか?」
- 3 **川邊 弘之 教授**
「聴覚障害学生のための聴講支援システム『質より量』のアプローチによる音声認識」
- 4 **野口 雅弘 講師**
「物理的刺激的の血管内皮機能への影響と生活習慣による影響の違いについての実験研究」
- 5 **永井 将太 講師**
「回復期脳卒中患者のADL訓練用グリニカルパスの作成とその効果検証に関する研究」
- 6 **瀬戸 就一 教授 (短大部)**
「聴覚障害学生に教員の熱意を伝える感情フォントシステムの開発」

大学コンソーシアム石川 各事業採択状況

大学コンソーシアム石川は、石川県内の全ての高等教育機関(大学、短期大学、高等専門学校)が連携して、教育交流・情報発信・調査研究等を行い、高等教育の充実・発展及び地域社会の学術・文化・産業の発展に寄与することを目的としている組織です。平成22年度の採択・交付者は左記の通りです。

- 1 **岡村 綾子 講師**
「内灘町地区福祉活動の実践的研究」
- 2 **黒川 威人 教授 (短大部)**
「雪だるままつりのグレードを高め、且つ、伝統的街並みを引き立たせるための映像の効果的応用」
- 1 **三浦 哲志 講師 (短大部)**
「地域の貢献型学生支援プロジェクト推進事業」
「山のじいちゃん・ばあちゃん世代間交流事業」

「大学教育・学生支援推進事業」 学生支援推進プログラム 状況報告

昨年度、採択された「早期に『社会人力』基盤を確立するキャリア教育」取組は、2年目となる今年度も引き続き、就職・各種資格支援等、在学生のキャリア教育・支援体制を強化し、「社会人力」向上を目指しています。

クラブ・同好会 活動報告

学生生活支援費から援助金を支給しているクラブ・同好会の活動報告については、以下の通りです。

女子卓球部

活動内容 私たち卓球部は、部員全員で全国制覇を目標にお互い高め合いながら、日々練習に取り組んでいます。

活動報告 (T:団体、W:ダブルス、S:シングル)
春季北信越学生卓球選手権大会(T:準優勝、W:第3位、S:優勝)、全日本大学総合卓球選手権大会(T:ベスト16)、夏季北信越学生卓球選手権大会(T:優勝、W:優勝、S:優勝)、秋季北信越学生卓球選手権大会(T:優勝、W:準優勝、S:優勝)、全日本学生選抜卓球選手権大会(S:準優勝)、全日本卓球選手権大会(W:ベスト32)



女子バレーボール部

活動内容 部員数:16名(大学4年2名、3年5名、2年3名、1年1名)、短大2年4名、1年1名。代表者:太田静香、抱負:私たちは「全員バレー」をモットーにチーム一丸となり、切磋琢磨しながら日々練習に励み、全国上位を目指して頑張りたいと思います。

活動報告 北陸三県学生春季リーグ戦優勝(2季連続11回目)、春季北信越大学選手権大会優勝(5季連続9回目)、石川県バレーボール祭優勝(4年連続4回目)、全国6人制総合男女優勝大会北信越リーグ優勝(第1回大会)、北陸三県学生秋季リーグ戦優勝(3季連続12回目)、秋季北信越大学選手権大会優勝(6季連続10回目)、天皇杯皇后杯全日本選手権大会ブロックラウンド3位



男女バスケットボール部

活動内容 笹本杯争奪北信越バスケットボール春季リーグ、石川県学生バスケットボール選手権大会、北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選、リユニースカップに出場しています。

ダンス部

活動内容 平日週2回男女関係なく楽しく練習しています。週末には市町村のイベントや、施設等でのボランテニアにも参加しています。ダンスだけではなく、BBOやボウリング大会など楽しい行事も盛りだくさんで活動しています。

活動報告 年に1回県内の大ホールで自主公演を行っています。他にも学園祭でのステージ発表、地域イベントへの参加、合宿、温泉旅行、他大学との合同公演の企画・実行など、幅広い活動を行ってきました。



硬式テニス部

活動内容 硬式テニス部は、大学生15人、短大生3人の計18人で活動しています。活動場所は日光アリーナ裏のテニスコートで月・水・金の週3回練習しています。部員同士も仲が良く、楽しい部活です。

活動報告 北信越大学対抗テニス王座決定試合(女子王座)3部1位、北信越学生新進テニス選手大会予選優勝、他大学との練習試合、の国際女子オープンテニスにスタッフとしても参加しました。



キンボール部

活動内容 大学の学生27人で活動しています。水・金曜日の16時30分から加賀野体育館で行っています。男女関係なくできるスポーツなのでとても楽しいです。大会も多くあるので、一生懸命練習を行い活動しています。



音楽部

活動内容 私たち音楽部は、部室を練習場所として、毎日ギターやドラムの練習をしています。文化祭への参加や、主催ライブを行います。積極的に活動しています。基本的に自由な部活で部員の中にはバンドの大会に参加し、県外のライブハウスに出演している人たちもいます。バンド活動を通じて、他の学校や社会人をはじめ、多くの人たちとの出会いを大切にしていきたいと思っています。

活動報告 今年は小松の「ROMANS」というライブハウスで、主催ライブを3回行いました。また石川県立看護学校の文化祭にも参加しました。その他にも多くの部員が、ライブハウスでライブ活動を行っています。また金城祭では屋台等も出するなど、音楽以外の活動も行っています。来年は県外のライブハウス等にも積極的に出演していきたいと思っています。



卓球サークル

活動内容 部員数大学4名、毎週水、金、土曜日(水曜日15:30~20:30、金曜日16:30~20:30、土曜日13:00~16:30)に活動しています。部員は少ないですが、大会で好成績を残すため日々切磋琢磨し練習に励んでいます。23年度は、昨年以上に他方の大会に出場し好成績を残せるよう頑張っていきたいと思っています。

活動報告 中部日本卓球選手権大会(一般予選)予選会予選リーグ敗退、北信越卓球選手権大会(シングル2回戦敗退・ダブルスベスト16)、石川県卓球選手権大会(シングル3回戦敗退、ダブルス1回戦敗退)



www.kids

活動内容 季節のレクリエーションやニユースポーツを取り入れた定期活動や週1回のランチミーティングを開き、話し合ったりして楽しく活動しています。また、美川地区を中心とした様々なボランティア活動や児童向けイベントに参加しています。



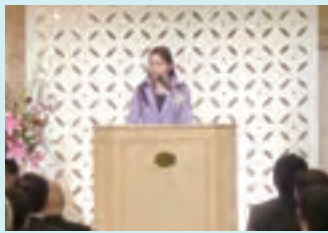
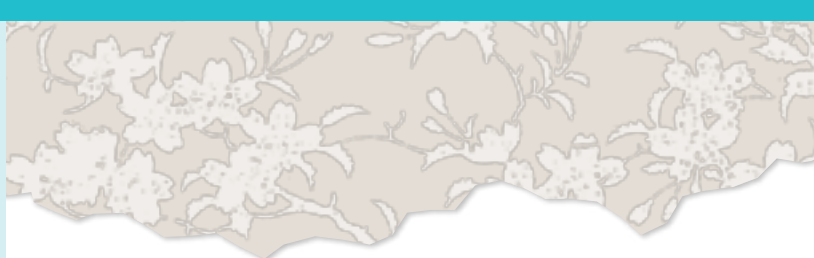
BBC

活動内容 大学の隣の小学校でバスケットボールをしています。今年度結成したばかりのサークルなので人数は少ないですが、和気藹々とマイペースにバスケットボールをしています。初心者ばかりなので技術ではなく、バスケットボールが好きということを基本に楽しく活動しています。



KWBアストロノズ

活動内容 車椅子バスケットボールを通して障害者の方々と交流を深め、車椅子バスケットボールの楽しさやボランティアの重要性などの理解を深めることを目的として活動しています。



開学10周年事業 (記念講演・記念祝賀会)開催

平成12年4月に開学した金城大学も今年度で11年目に入ったことから、開学10周年記念事業として、記念講演・記念祝賀会が

ホテル日航金沢にて、10月31日(日)に開催されました。記念講演では、参議院議員三原じゅん子氏による「介護問題と女性の健康について」と題した、たい

トピックス

へん興味深いご講演をいただきました。

記念講演終了後に行われた記念祝賀会では、加藤晃理事長の挨拶に始まり、森喜朗衆議院議員、馳浩衆議院議員、北村茂男衆議院議員、岡田直樹参議院議員などからご祝辞を賜りました。また、同窓会、後援会から、記念事業として図書館新システムの目録が贈呈されました。その他、多くの祝電も賜り、盛大な祝宴となりました。最後に、本田昂学長が謝辞を述べられました。後援会役員・運営委員の皆様にも多数のご出席を賜り、本当にありがとうございました。



北國新聞社との共催にて、一般の方を対象にした通年事業として「社会福祉講演会」、「医療健康講演会」、「福祉創造フォーラム」を開催しました。今年度は7月31日(土)に医療健康学部武田功教授による「老人を寝たきりにさせないため」、9月18日(土)に社会福祉学部松浦万里子教授による「あなたと私の福祉観〜豊かな老後のために乗り越えるべき課題〜」を開催し、多くの聴講者がありました。



北國健康生きがい支援事業

平成22年11月21日(日)に、第5回福祉創造フォーラムが本学にて開催されました。メインテーマを「人間が好きーわたしの出発点ー」とし、宮崎栄樹氏(木更津社会館保育園園長)による基調講演「子どもの思いと大人の願い」を行い、昼食を挟み、午後から社会福祉「地域の要支援者に対する包括的サービスのあり方」、理学・介護「生活を支えるリハビリテーション」介護現場の取り組みから、保育者養成「保育者の専門性ー地域を保育につなげるー」の各分科会が行われました。当日は、基調講演に約280名、3分科会に約330名の参加があり、専門性の高い情報意見交換交流の場となりました。



男子バレーボール部

活動内容

週3回の練習。競技力向上はもちろんですが、コミュニケーション能力を高め、心と体を鍛え、人として魅力ある生き方ができるような部活動を目指しています。目標は、北信越で1部リーグを制覇し、インカレで全国レベルに到達することです。

活動報告

春季北陸三県大会2部2位、春季北信越大学選手権大会2部6位



活動報告

笹本杯争奪北信越バスケットボール春季リーグ男子3部B第3位・女子4部第4位、石川県学生バスケットボール選手権大会男子3位・女子2位、北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選男子1回戦敗退・女子2回戦敗退、リユースカップ男子2位

硬式野球部

活動内容

部員数は15名(大学生14名、短大生1名)で、主に2部リーグの春秋リーグ戦、新人戦、中日旗争奪北陸大学野球選手権、金沢市長杯石川大学野球定期戦に出場します。まずは2部の春秋リーグ戦の優勝を目標に、土日と平日は授業の空き時間に工夫して活動しています。

活動報告

平成21年度の主な出場大会は、新人戦と秋季リーグ戦に参加しました。新人戦は1回戦敗退、秋季リーグ戦は1勝6敗で6位でしたが、どの試合も紙一重での敗退で22年度に繋がる良い経験ができました。



活動報告

兵庫オープンキンボールスポーツ交流大会、石川オープンキンボール大会、金沢キンボール大会、第11回キンボールスポーツジャパンオープン、チャンピオンズカップ、NEE Ball日本海(CUP 2010 in SHIKAWA)に出場しました。

サッカーサークル

活動内容

今年創設しました。金城大学の陸上競技場グラウンドを使い毎週火・金曜日に活動しています。ほとんどの部員が初心者であり、主に基礎トレーニングを中心に活動しています。また冬場でグラウンドが使えない場合には近くの体育館を借りてラニングや他のスポーツをして体力づくりを中心に活動しています。まだまだ部員は少ないですが、みんな楽しく活動しています。

活動報告

まだ公式戦の出場はありませんが、地域住民との練習試合などをしていきます。来年度には公式戦に出場できるように頑張ります。



活動は主に体育館で車椅子バスケットボールの大会に向けて練習をしています。また、プレイヤーだけでなく運営ボランティアとしても参加しています。県の車椅子バスケットボールチームの練習にも参加し、交流を深めるとともに、ボランティア活動を積極的にしているサークルです。

活動報告

石川県車椅子バスケットボールチーム「Tanabe」石川主催のミリオンカップ2010にて、大会運営ボランティアを行なった。また、同大会にて「Tanabe」石川Bチームに勝利(公式戦初勝利)。サークルのボランティア活動が石川県に認められ「第12回石川県バリアフリー社会推進賞 奨励賞」を受賞(金城大学初の受賞)。



平成22年度 卒業パーティー

平成23年3月18日



平成23年度 大学 行事案内

平成23年度 **入学式**：平成23年 4月 1日(金)
 平成23年度 **新入生歓迎会**：平成23年 4月 9日(土)
 平成23年度 **新入生合宿研修**：平成23年 4月15日(金)～17日(日)
 平成23年度 **後援会総会**：平成23年 6月11日(土)
 第36回 **金城祭**：平成23年10月22日(土)・23日(日)
 平成23年度 **地方説明会**：平成23年12月10日(土)

金城大学の建学理念等

建学理念 明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在の養成

教育理念 教育とは、教員と学生との全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への良い影響である。学生とともに毎日学内で過ごす生活そのものが教育である。

目的及び使命 教育基本法および学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を養い、文化の向上および社会の福祉に寄与する人材を育成することを目的とする。(学則第1条)

教育目標 社会福祉、保育及び幼児教育、また医療及び健康を担う総合力と旺盛な意欲、職場の即戦力につながる社会人の基礎、そして社会で幅広く活躍する積極性を身につけ、福祉の心を持ったエキスパートとして卒業生を社会に輩出する。

大学案内・募集要項

<http://telemail.jp>
 テレメール／資料請求受付(24時間)

●音声ガイダンスに従って資料番号を入力してください。
IP電話 050-8601-0101

●資料請求番号 **160793** (2日で資料が届きます。)
 ※お急ぎの場合は、本学へ直接ご連絡ください。